

各社動向

R体αリポ酸、CoQ10

ATP産生、糖代謝に 必須の素材を強化、提案

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、☎03-5614-7147)は、ミトコンドリアのATP産生メカニズムで重要な役割を果たす機能性素材として、「R体αリポ酸・γCD包接体」と「CoQ10・γCD包接体」を提案、供給している。

シクロケム(東京都中央区、☎03-5614-7147)は、ミトコンドリアのATP産生メカニズムで重要な役割を果たす機能性素材として、「R体αリポ酸・γCD包接体」と「CoQ10・γCD包接体」を提案、供給している。

「α-リポ酸」は、糖代謝促進作用を有し、体内のブドウ糖をミトコンドリアでエネルギーに変換する際に働く。

通常のαリポ酸は、体内に存在する「R体」と、本来存在しない非天然型である「S体」の両者を含有する「ラセミ体」として流通しているが、同社の研究で「R体」のみが機能性を有することが数々の試験で明らかになっている。

糖代謝に関する有効性については、京都薬科大学との共同研究で、2型糖尿病モデルマウスを用いた試験を実施。血中の糖化したタンパクHbA1c値について、コントロール群、R体αリポ酸・γCD包接

体摂取群、S体αリポ酸包接体摂取群、ラセミ体αリポ酸包接体摂取群と比較した。その結果、R体αリポ酸・γCD包接体摂取群は、他の群と比べ、有意にHbA1cを低下させた。「CoQ10」は、TCAサイクルから電子伝達系でエネルギーが産生される際に自らは還元され、酸化物質として体内の酸化したヒタミン

ラセミ体αリポ酸包接体摂取群と比較した。その結果、R体αリポ酸・γCD包接体摂取群は、他の群と比べ、有意にHbA1cを低下させた。「CoQ10」は、TCAサイクルから電子伝達系でエネルギーが産生される際に自らは還元され、酸化物質として体内の酸化したヒタミン

この2つの成分は、ATP産生(酸化反応)に必要な不可欠となる。また、ATPを産生する際には活性酸素が発生するが、これらは酸化物質としても機能する。つまり酸化反応を引き起こす際に自らは還元され、酸化物質として体内の酸化したヒタミン

加齢に伴い、これらの成分は減少の一途をたどるため、サプリメントなどで補う必要がある。同社では、これらの摂取による美肌効果、抗疲労効果、ダイエット効果など豊富なエビデンスを蓄積している。

加齢に伴い、これらの成分は減少の一途をたどるため、サプリメントなどで補う必要がある。同社では、これらの摂取による美肌効果、抗疲労効果、ダイエット効果など豊富なエビデンスを蓄積している。